

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公開番号】特開 2005-56341 (P2005-56341A)

【公開日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報 2005-009

【出願番号】特願 2003-289153 (P2003-289153)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/042 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/03 3 3 0 E

G 0 6 F 3/03 3 1 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 31 日 (2006.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

座標入力領域に設けられた受光手段と、当該座標入力領域の周辺部に設けられ、入射光を反射する反射手段と、前記座標入力領域に投光する発光手段と、前記受光手段から得られる光量分布に基づいて、発光機能を有する指示具の前記座標入力領域における座標位置を求める座標取得動作を行う計算手段とを備える座標入力装置であって、

前記指示具からの発光信号を検出する検出手段と、

前記検出手段による検出結果に基づいて、前記計算手段による前記座標取得動作を制御する制御手段と

を備えることを特徴とする座標入力装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記検出手段が前記指示具からの発光信号を検出してから所定期間中は、前記計算手段に前記座標取得動作行わせないように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記検出手段が前記指示具からの発光信号を検出してから所定期間中は、前記発光手段による投光を行わせないように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 4】

前記所定期間の長さは、前記発光手段が前記指示具の座標検出のために投光する期間よりも長いことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の座標入力装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記発光手段による発光開始時から所定期間、及び発光終了時から所定期間だけ、前記計算手段に前記座標取得動作行わせないように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 6】

前記指示具は、前記受光手段側に発光することを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 7】

座標入力領域に設けられた受光手段と、当該座標入力領域の周辺部に設けられ、入射光を反射する反射手段と、前記座標入力領域に投光する発光手段と、前記受光手段から得られる光量分布に基づいて、発光機能を有する指示具の前記座標入力領域における座標位置を求める座標取得動作を行う計算手段とを備える座標入力装置が行う座標入力方法であって、

前記指示具からの発光信号を検出する検出工程と、

前記検出工程による検出結果に基づいて、前記計算工程による前記座標取得動作を制御する制御工程と

を備えることを特徴とする座標入力方法。

【請求項 8】

コンピュータに請求項 7 に記載の座標入力方法を実行させる為のプログラム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のプログラムを格納したことを特徴とする、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

即ち、座標入力領域に設けられた受光手段と、当該座標入力領域の周辺部に設けられ、入射光を反射する反射手段と、前記座標入力領域に投光する発光手段と、前記受光手段から得られる光量分布に基づいて、発光機能を有する指示具の前記座標入力領域における座標位置を求める座標取得動作を行う計算手段とを備える座標入力装置であって、

前記指示具からの発光信号を検出する検出手段と、

前記検出手段による検出結果に基づいて、前記計算手段による前記座標取得動作を制御する制御手段と

を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

即ち、座標入力領域に設けられた受光手段と、当該座標入力領域の周辺部に設けられ、入射光を反射する反射手段と、前記座標入力領域に投光する発光手段と、前記受光手段から得られる光量分布に基づいて、発光機能を有する指示具の前記座標入力領域における座標位置を求める座標取得動作を行う計算手段とを備える座標入力装置が行う座標入力方法であって、

前記指示具からの発光信号を検出する検出工程と、

前記検出工程による検出結果に基づいて、前記計算工程による前記座標取得動作を制御する制御工程と

を備えることを特徴とする。